



南十字星



2020年度 第11号

令和2年9月19日

クイーンズランド補習授業校

ゴールドコースト校

校長 直塚 裕典

E-mail: jschoolgc@jsgc.org.au

いよいよ二学期の終業日、そして、前期が終わります。



保護者の皆様には、年度当初から新型コロナの影響で大変お世話をおかけした前期でした。一学期は、対面授業が行うことができず、オンライン等によるサポートを実施し、二学期はとても不安のなかでしたが対面授業を行うことが出来るようになりました。特に、一学期のオンライン等によるサポートでは保護者の方々に多大なるご協力をいただき、感謝申し上げます。また、二学期は新型コロナの感染防止に配慮しながらの日々でした。授業参観や学級ガイダンスなどほとんどの行事を見送ることになったことが残念でした。校舎内では、ソーシャルディスタンスや消毒の励行等を繰り返し指導しながら、学習内容の遅れがないように努めました。何もかもがこれまでと違う前期でしたが、無事に今日まで授業をすることができました。

子どもたちにとって本当に大変だった2学期であり、前期だったと思いますが、みんなよく頑張りました。どのクラスも落ち着いて学習ができていたようです。これも、各ご家庭のご協力があったことです。毎回の検温をはじめ、健康管理に努めていただき、本当にありがとうございました。また、二学期を無事に終わることができるのは補習校を支えていただいた運営委員会の皆様方や保護者役員及びボランティアの方々のおかげだと感謝申し上げます。登下校時の安全指導はもとより常に子どもたちを温かく見守っていただき、誠にありがとうございました。オーストラリア国内やクイーンズランド州も新型コロナが流行しているとお聞きしています。春休み中も引き続き、感染防止対策を徹底されますようよろしくお願いいたします。今年の春休みは13日間しかありませんが、この間子どもたちは家庭やコミュニティで育ちます。温かいお声かけをしていただければありがたく存じます。

いよいよ2学期の終業日ですが、前期は18日の授業日数でした。お子さんと学習のあゆみを見ながら、親子で振り返り、春休みや三学期の生活に向けてお話をしていただければと考えます。春休みの計画に沿って、規則正しい生活習慣を心がけ、「有意義な春休みだった」と言えるようにしてほしいと思います。

少し考えてみましょう!! 「カエルの物語」



昔々、親に逆らってばかりのカエルがいました。死期を悟った親ガエルは、「死んだら川のそばに埋めてくれ」と頼みました。そうすれば、山に埋めてくれるに違いないと考えたのです。しかし、これまでの親不孝をすまないと思っていたカエルは、最後ぐらい望みをかなえてやろうと、川のそばに葬りました。だから、今でも雨が近づくと、川があふれるのを心配してカエルが鳴く……。 (出典 雨のことば辞典)

～ これは、「親孝行したいときには親なし」という川柳が身にしみる話です ～

親は、子どもより先に人生を生きているから、どうしても「こうした方が良くないか?」とか、「私の言ったようにしなさい」などと、子どもの意志を考えずに自分の考えを押し付けることが多々あります。

しかし、あとで後悔しないようにできるだけ一緒の時間を過ごし、お互いに話をしたり、聞いたりすることは大切だと思います。お互いに相手が大切な存在だということは分かっているのだから。

「日々の生活を大事にできる人間でありたいです」という言葉から学ぼう！

村治佳織(むらじ かおり)さんは、クラシックギターの演奏家です。幼い頃から父の厳しい教えを受けて育っています。1993年に15歳でデビューしてからは、クラシックファンにとどまらない広い層の支持を得ています。2008年のインタビューで「めざす演奏家像」を質問されたときの言葉が、標題です。アーティストとしての高い理想を語るのではなく、なによりもまずひとりの人間として、いかに生きるかを語っているのが印象的です。

日々の生活を大事にすることは、簡単なようでいて実はとても難しいのです。人生には限りがあり、人はときに永遠の命を願いもします。しかしその一方で、毎日の生活を大切にすることはつい忘れがちです。ただ無為に日々を過ごし、あとになってから後悔することも多いのです。

これを避けるには、村治さんのように「日々の生活を大事にする」という意識を常に持ち続けることが大切だと思います。もちろん、これが何よりも難しいのですが、、、。村治さんは、2013年に病気で長期療養に入るという不運にも見舞われます。だが、その後復帰してからもポジティブな姿勢は変わらず、数年後に新作を発表したときには、「常に今を大切に作る姿勢は変えずにいきたいですね」と語っています。そのブレない生き方が素晴らしいと思います。

見つけたよ、いいことば！ 「心の泉」 ～ピンチの裏側～ 今年のピンチをチャンスに！

神様は決してピンチだけをお与えにならない。ピンチの裏側に必ずピンチと同じ大きさのチャンスを用意してくださっている。グチをこぼしたりヤケを起こしたりするとチャンスを見つける目がくもり、ピンチを切り抜けるエネルギーさえ失せてしまう。ピンチはチャンス。どっしりと構えてピンチの裏側に用意されている「チャンス」を見つけよう！

学習のあゆみについて（お知らせ）



学習のあゆみ「通知表」は、お子様の学習状況や補習校生活の様子をご家庭にお知らせし、お子様についての理解を深めていただくものです。補習校と家庭が連携し合って、お子様をよりよく育てる役割をするものです。また、補習校は日本の学校と同じように学習の様子だけではなく、補習校生活全般を通して教育を行っています。

小学部は学習指導要領の改訂に伴い、本年度から各教科の評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に変更になりました。評価は、それぞれの観点において学年の内容に応じて到達度を定め、その評価の規準をもとに評価を行っています。他の子どもとの比較ではなく、教科ごとの観点においてどの程度できたか（絶対評価）を表しています。

前期については、一学期がオンライン等によるサポートや二学期の対面授業の日数等を鑑み、例年通りとはいわず十分な評価ができない状況でした。しかしながら、担任の先生方が毎週子ども達の様子を見ていただいているおかげで観点別評価から評定までを出すことができています。

所見については、対面授業を中心に担任が気付いたことを記載し、三学期につながるようになっていますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。